

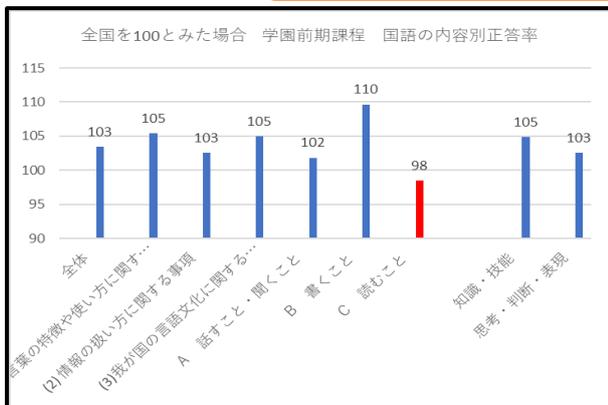
全国学力・学習状況調査 結果

令和6年度の全国学力・学習状況調査結果を掲載します。各教科の領域ごとに全国平均と比較したグラフと主な分析です。

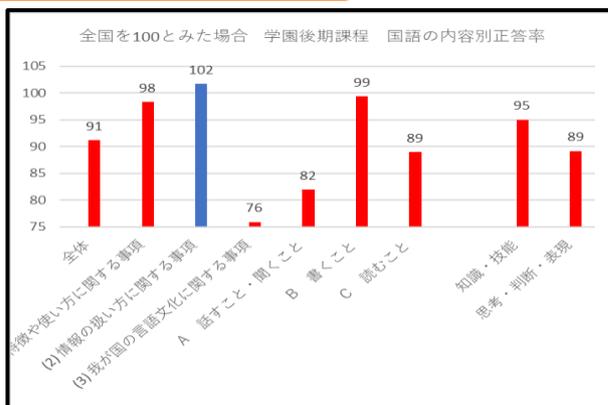
【前期課程 国語】

グラフの青色は、全国平均以上。赤色は、全国平均以下を示しています。

【後期課程 国語】

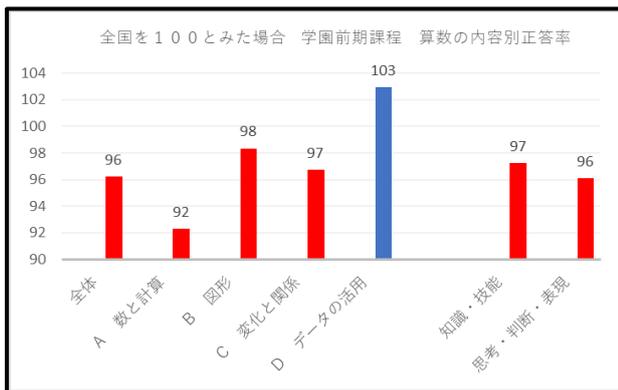


学習を振り返る場面を設定し、情報を整理することのよさに気づかせ、学級全体の学びに広げる授業を行います。



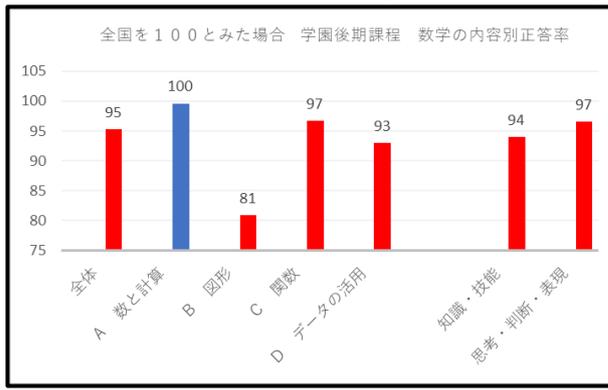
他者の考え等から自分の考えをまとめ、整理して述べる事ができたか等、振り返られる授業をデザインします。

【前期課程 算数】



立式に終始せず、問題場面を図に表し、図と問題文のそれぞれの数量の関係を比較し捉える授業を展開します。

【後期課程 数学】



題材について、多面的に吟味し批判的に考察したり、必要な関係を見出したりする授業づくりを目指します。

前期課程ではこの結果から、基礎基本の習得をベースに、「生徒同士が気づきあう授業づくり」に引き続き取り組んでまいります。

日本語を読み、書くことの大切さにも気づかせ、学ぶことの楽しさや喜びをさらに味わわせたいと願い、授業者の研修を重ねております。

後期課程ではこの結果から、基礎基本の習得を大切にしつつ、他者とともに協働しながら、探究的に学ぶ授業づくりに引き続き取り組んでまいります。課題解決、学び合いの充実を意識した授業づくりに留意し、義務教育9年間のゴールを見つめ、学び続ける人材育成に努めます。

令和6年4月、6年生と9年生を対象に、全国学力・学習状況調査を実施しております。

本校では、本調査を学校全体のものと捉え、児童生徒の学力や学習状況を把握し、成果と課題を検証、その改善を図ることとしております。個人それぞれの結果は、各児童生徒に配付いたします。

また、結果の詳細や今後の取組の指針等は、11月上旬を目途にお知らせします。

学びに向かう力を育てるため、「児童生徒がつながる授業」「気づかせる授業」に取り組んでいます。

全国学力・学習状況調査 結果

R6 全国学力・学習状況調査の、児童生徒質問紙（6・9年生）の主な結果から、本校の傾向等をまとめています。



【全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙 主な質問と回答状況】

質問	確かな学力の育成		豊かな心の育成		社会参画態度	
	授業の内容がよくわかる。 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答	勉強は好き。 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答	自分には、よいところがある。 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答	学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答		
後期	「国語」「数学」平均 本校 73.4% 全国 79.2%	「国語」「数学」平均 本校 46.9% 全国 60.8%	本校 80.9% 全国 83.3%	本校 85.1% 全国 86.3%		
前期	「国語」算数」平均 本校 84.7% 全国 84.2%	「国語」「算数」平均 本校 77.6% 全国 61.5%	本校 81.7% 全国 84.1%	本校 83.7% 全国 84.2%		

【確かな学力の育成】

- ・児童生徒の学びに向かう力を育てるために、「毎日の授業内容がよくわかり、勉強が好きだ」と感じられる時間を児童生徒にもたせたいと強く願っています。
- ・一問一答の正解を求めるだけの授業ではなく、自身で課題を見つけ解決していくことを経験し、「学び続けること」の大切さを深く理解できる児童生徒を育てていきます。



【豊かな心の育成】

- ・少子高齢化、グローバル化や情報化などの進展で、「将来の変化を予測することが困難な時代」が到来すると言われています。
- ・自己のよさに気づき、夢や希望をもちながら、「未来」を前向きに見つめる児童生徒に育つよう、学校、家庭、地域が一つになって今後も支えていきたいと考えています。

【社会参画態度】

- ・「こどもをまんなかに置き、全てのこどもが自立した個人であることに留意できる社会」を形成することが求められています。
- ・こどもの意見を反映できる社会を実現するためには、義務教育の段階で、各教科はもとより、学級や児童生徒会活動において言語活動を充実させることが必要です。今後も教育活動の充実を図ってまいります。

